

# 田村市指定有形文化財

## いとうなおきかんけいしりょう 伊藤直記関係資料



伊藤直記（1826～1915）は、最上流和算家 佐久間庸軒の門人で、福村周義（長崎海軍伝習所出）に測量技術を学び、当時の県内の測量技師の中でも卓越した測量技術をもち、明治期に国家事業であった安積疏水事業や県内各地の地図作成、道路建設などに携わった、福島県の近代化と国土開発に活躍した人物です。その活躍を裏付ける資料として、安積疏水事業をはじめとする数々の辞令や実際に測量に使用した器具、掛軸の包や襖の裏張りとなっている測量関係書類などが残っています。また福島県立博物館に貸出している安積疏水事業についてファンドールが記した「日本水政」147号（伊藤直記が写した写本）、伊藤直記の測量器具もあり、福島県近代史の資料としても貴重です。